

## 一側性感音難聴の実態調査

2018年4月から2020年3月までに片耳の難聴のために受診された患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「一側性感音難聴」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2018年4月1日より2020年3月31日までに日本医科大学千葉北総病院耳鼻咽喉科にて、片耳の難聴のために受診された患者さんの実態を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

#### (1) 研究の概要について

研究課題名：一側性感音難聴の実態調査

研究期間：承認日～2025年3月31日

当院における研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 耳鼻咽喉科 小町太郎

#### (2) 研究の意義、目的について

この研究の成果は、今後の一側性感音難聴の実態調査研究の発展に寄与することが期待されます。したがって、将来的に一側性感音難聴への対策が進むことで、一側性難聴者のQOLの改善が得られる可能性があります。

一側性難聴は本邦では日常生活や学校教育に支障がないとこれまでは言われてきました。しかし近年、一側性難聴の日常生活に与える影響が海外から多く報告され、海外では一側聾の方に対する人工内耳手術が認可されつつあります。国内でも難聴議連を中心に一側性難聴への人工内耳の議論がなされるようになってまいりました。このような背景から、一側性難聴の実態（頻度、難聴原因、日常生活上の問題、介入と成績等）を調べ、一側性難聴に対する診療指針を作成することが必要となっております。従来小児では就学時頃まで一側性難聴の診断は困難でしたが、近年では一側性難聴の1/4が新生児聴覚スクリーニングで発見されるようになりました。乳幼児での正確な頻度と診療実態を調べるのが可能となっており、今回全国的に一側性難聴のアンケート調査を行い、本邦における実態を調査することが目的です。

#### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2018年4月1日より2020年3月31日までに日本医科大学千葉北総病院耳鼻咽喉科にて中等度以上の一側性の難聴で当科を初診された患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用します。

試料：なし

情報：年齢、性別、原因疾患、重症度、介入（治療）の有無、治療経過の詳細

これらの試料・情報は、共同研究機関である東京大学医学部附属病院へ提供されます。これらの試料・情報は、匿名化の上、ファイルにデータ入力を行い、パスワードロックのかかったUSBメモリー内に保存して東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科に送付します。各研究機関から収集された試料・情報を用いて、研究グループが情報を集計・解析し、一側性難聴の実態についての調査を行います。

#### (4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

研究全体の責任者：東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 山唄達也

その他の共同研究機関：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉科、名古屋市立大学病院 耳鼻咽喉科、近畿大学病院 耳鼻咽喉科、九州大学病院 耳鼻咽喉科、帝京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科

#### (5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報を使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

**(6) 研究成果の公表について**

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

**(7) 当院における問い合わせ等の連絡先**

日本医科大学千葉北総病院 耳鼻咽喉科 医員助教 小町 太郎  
〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715  
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：2041  
メールアドレス：s6031@nms.ac.jp